

令和5年度（2023年度）

管理事業名	総合的自転車対策事業				総合計画 の体系	大綱 6	都市形成		
						政策 2	安全・快適な都市を支える基盤づくり		
						施策 4	交通環境の整備		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 4	自転車駐車場費		
部局名	土木部	予算執行 所属	総務交通室						
事業の目的と概要 目的】 駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等（原付、自動二輪を含む）の放置防止策を実施する。 【概要】 自転車等放置禁止区域内での放置防止啓発、指導及び自転車等放置禁止区域外の放置自転車等の移送を実施する。 駅周辺に自転車駐車場を設置、運営し、市が定める場所への駐車を促進することにより、駅前の美観の維持を行う。 自転車コールセンターを設置し、移送された自転車等の返還及び自転車駐車場についての問い合わせへの対応を行う。									

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指 標 の 定 義
放置自転車の移送台数	台	3,508	3,485	3,503	1年間に市内放置禁止区域内外から移送した放置自転車の台数
自転車駐車場の利用状況	%	73.9	76.5	78.4	収容可能台数に対する利用台数の割合

II 活動実績・成果

<p>自転車駐車場の利用促進施策が一巡しているため、放置自転車は減少傾向にある。今年度については撤去の回数等により移送台数は微増している。今後も撤去日時等を工夫し、目的を見据えながら経費の節減に努めている。</p> <p>自転車駐車場の利用状況については、利用者が減少している原付置き場を自転車置き場に振り替える等の処置を行った結果、増加している。</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>自転車駐車場は、昭和55年(1980年)に供用開始したJR吹田駅前西自転車駐車場が40年が経過し、市内31か所ある自転車駐車場のうち、ほとんどの自転車駐車場は建設後10年以上が経過している。</p> <p>経過年数の増加に伴い付属設備の老朽化も進み、また電動自転車の普及により、建設当時より自転車の重量化、子乗せ装置等の大型化が進んでおり、利用者のニーズに対応できていない部分がある。</p>	<p>今後、設備の更新及び施設の維持に関しては、費用がこれまで以上にかかることもあり、老朽化した施設にどれだけのコストをかけて施設の長寿命化を図るか等、関係室課とも協議し、計画的に進めていく必要があると考えている。</p>
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	63,488	45,175	△18,312
	未収金	-	-	-	地方債	38,338	19,102	△19,236
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,325	3,461	135
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	2,588	3,377	789	
有形固定資産	3,815,632	3,712,025	△103,606	その他流動負債	19,236	19,236	-	
事業用資産	土地	1,643,577	1,643,577	-	固定負債	329,364	304,451	△24,913
	建物・工作物	2,169,467	2,026,182	△143,285	地方債	145,482	126,380	△19,102
	リース資産	2,588	15,757	13,169	長期借入金	-	-	-
	建設仮勘定	-	26,509	26,509	退職手当引当金	29,992	31,036	1,044
	無形固定資産	3,431	3,431	-	リース債務	-	12,381	12,381
	有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	153,891	134,654	△19,236
	土地	-	-	-	負債の部合計	392,852	349,626	△43,226
	建物・工作物	-	-	-	純資産	3,462,519	3,434,888	△27,631
	建設仮勘定	-	-	-	重要物品	36,308	69,058	32,750
	重要物品	36,308	69,058	32,750	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-	
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-	
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-	
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-	
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-	
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-	
その他債権	-	-	-	資産の部合計	3,855,371	3,784,515	△70,857	
資産の部合計	3,855,371	3,784,515	△70,857	負債及び純資産の部合計	3,855,371	3,784,515	△70,857	

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	339,470	356,968	363,777	6,809
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	10,138	9,898	10,147	248
経常収入 小計(a)	349,608	366,866	373,924	7,058	
経常費用	給与関係費	45,961	39,651	40,345	694
	物件費	547,520	546,264	554,780	8,516
	維持補修費	19,434	29,806	29,376	△430
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	2,736	40,937	2,555	△38,382
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	256,506	215,648	201,200	△14,448
	徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
	賞与引当金繰入額	2,984	3,325	3,461	135
	退職手当引当金繰入額	7,225	2,733	2,644	△89
支払利息	7,438	5,753	4,898	△855	
その他	-	-	-	-	
経常費用 小計(b)	889,805	884,117	839,260	△44,857	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△540,197	△517,251	△465,336	51,915	
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-	
特別費用	固定資産除売却損	-	-	36,576	36,576
	その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	36,576	36,576	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△36,576	△36,576	
一般財源調整額(g)	-	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△540,197	△517,251	△501,912	15,339	
一般財源充当額	478,346	371,257	474,281	103,025	
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	-	
再計	△61,851	△145,994	△27,631	118,364	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	349,608	366,866	373,924	7,058
行政サービス活動支出	628,406	668,051	636,881	△31,171
行政サービス活動収支差額	△278,798	△301,186	△262,957	38,229
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	130,044	-	150,037	150,037
投資活動収支差額	△130,044	-	△150,037	△150,037
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	69,504	70,071	61,288	△8,784
財務活動収支差額	△69,504	△70,071	△61,288	8,784
収支差額 合計	△478,346	△371,257	△474,281	△103,025
一般財源充当額	478,346	371,257	474,281	103,025
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】 使用料及び手数料	自転車駐車場利用数の増(6,809千円の増加)
【PL】 維持補修費	JR吹田駅前西自転車駐車場塗装修繕(4,949千円)、江坂中央自転車駐車場上部屋根緊急修繕(3,245千円)、キャッシュレスシステム修繕(6,462千円)

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	コスト	令和3年度	令和4年度	令和5年度
駐車スペース1台	コスト	30,241円	23,067円	30,454円
	実績	19,449台	19,457台	19,700台
自転車移送1台	コスト	37,872円	34,447円	36,141円
	実績	3,508台	3,485台	3,503台

「経常費用小計(b)」のうち、(目)自転車駐車場費は、分599,960千円で、自転車駐車場駐車スペース1台あたり、年間30,454円のコストが生じている。
内「経常費用小計(b)」のうち、(目)交通対策費は126,604千円で、移送1台あたり、36,141円のコストが生じている。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	月平均従事人数(人)	
		うち時間外手当等(千円)	
常勤・再任用	43,505	332	5.14
会計年度任用等	3,135	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	46,460	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		63.7	65.0	67.5	2.5
施設維持補修費比率		0.2	0.5	0.5	0.0
経常費用対公共資産比率		10.8	14.3	13.5	△0.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		38.2	40.4	43.3	2.9
一般財源充当比率		57.8	50.3	55.9	5.6